

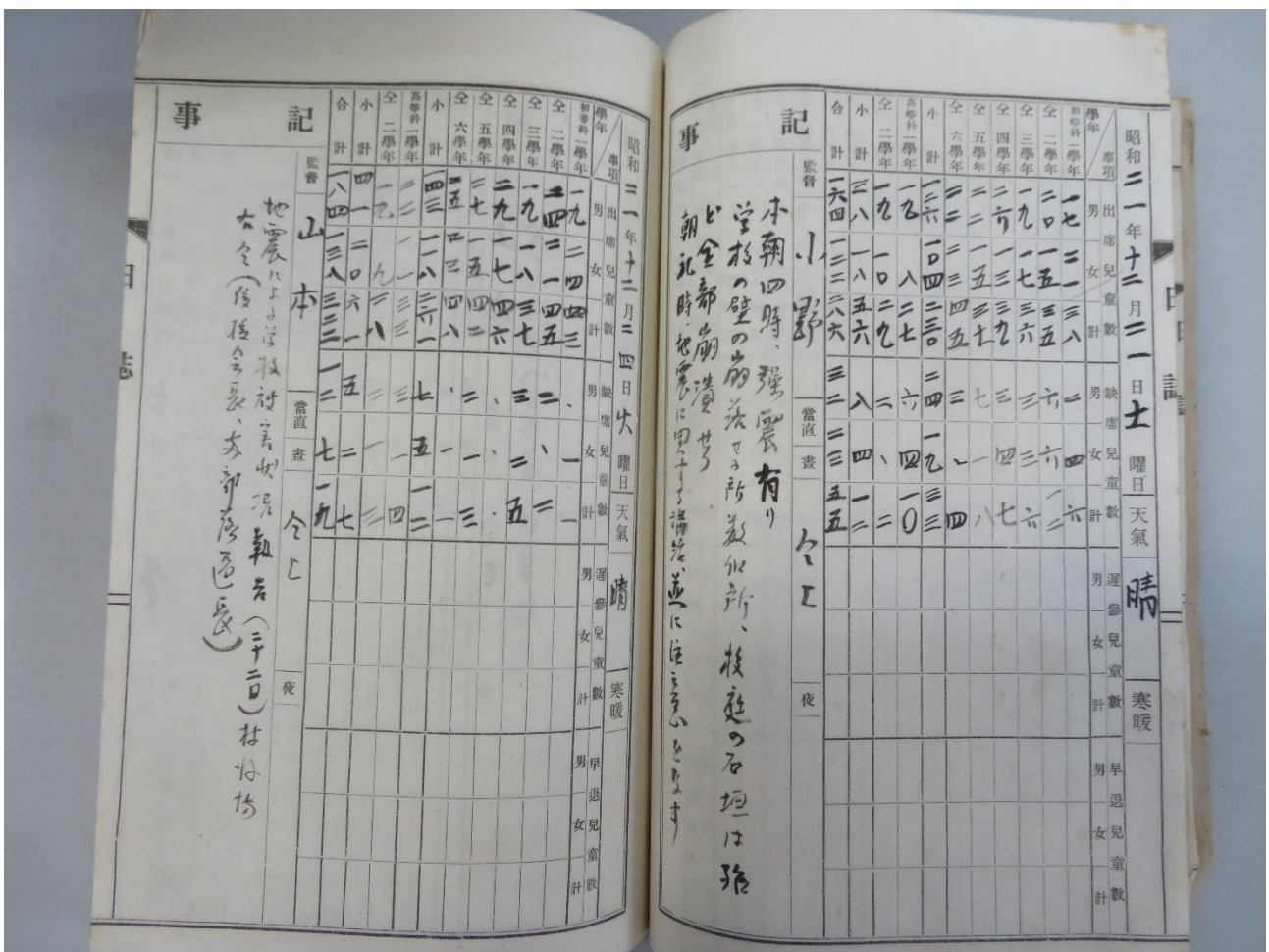
◎『新市史』の学校資料及び防災史に関わる調査

昭和南海地震の日(昭和21年12月21日)

の『学校日誌』の記述を調査する！

先日12月21日(水)午後から、国立公園*ジオパーク推進課と生涯学習課市史編さん室の昭和南海地震に関わる『学校日誌』の記述内容の調査を実施した。調査には、国立公園*ジオパーク推進課からは土井恵治専門員・森口夏季専門員、市史編さん室からは室長の田村が参加した。

調査では、中浜小学校の2階歴史所蔵スペースに保存している益野小・大津小・窪津小の『学校日誌』昭和21年12月21日の記述内容を調べた。また、事前に調査していた足摺岬小の記述内容も確認した。



↑ 益野小学校『昭和21年度・学校日誌』昭和21年12月21日と同年同月24日の記述

益野小学校の昭和21年12月21日の記述には、次のような昭和南海地震に関わる内容が

書かれています。

【『昭和 21 年度・益野小学校学校日誌』 12 月 21 日の記述】

本朝四時、強震有り。学校の壁の崩落せる所 数箇所。校庭の石垣は殆ど全部崩落せり。朝礼時、地震に関する講話、並びに注意なす。」

と記され、当時の学校内の被災状況を今に伝える。

これによると、昭和 21 年 12 月 21 日(土)の早朝 4 時に昭和南海地震が起こったこと。強い揺れがあり、校舎建物の壁が崩れている所が数か所見られたこと。校庭の敷地の石垣がすべて崩れていること。その日の朝、朝礼で児童を集め、地震についての講話と注意を校長が行ったこと等、地震が起こった当日の学校の様子が浮かび上がってくる。

また、12 月 24 日(火)の日記内容では、村役場に翌日の 22 日(日)に学校の地震による被害状況を報告したこと、同じく学校の後援会長と益野地区の地区長に報告したこと等が記されている。

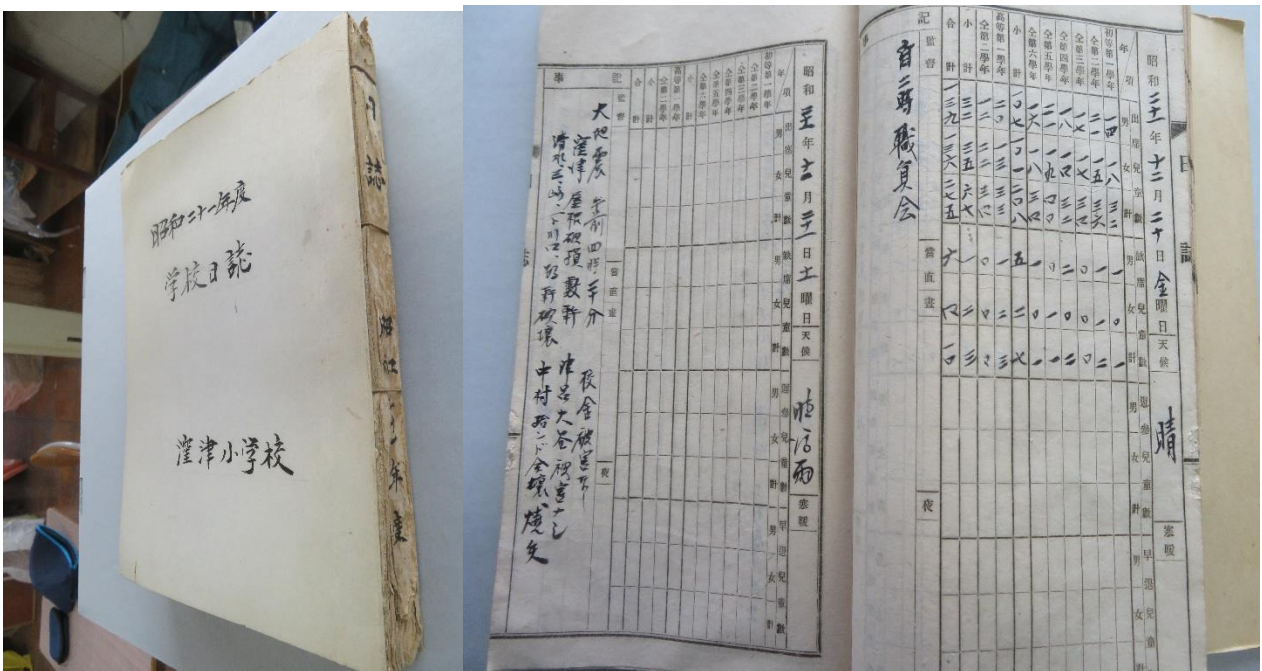
国立公園*ジオパーク推進課と生涯学習課市史編さん室では、地元・土佐清水市郷土史同好会と連携し、これまで現行『土佐清水市史』に記述が殆どなかった昭和南海地震について市域全域で聞き取り調査を実施することとなった。

この聞き取り調査の結果は、国立公園*ジオパーク推進課のホームページで掲載する外、令和 5 年度末刊行予定の『新土佐清水市史』の通史編・第 11 章防災史にその内容を紹介する予定である。また、土佐清水市郷土史同好会では、来年 2 月 16 日(木)～19 日(日)の 4 日間にわたり土佐清水市立中央公民館で開催される「令和 5 年公民館サークル文化展」で企画展示する計画である。

【令和 5 年中央公民館サークル文化展】

場所：土佐清水市立中央公民館 3 階多目的ホール

令和 5 年 2 月 16 日(木)～19 日(日)午前 9 時～午後 5 時まで(19 日のみ午後 3 時まで)



↑窪津小学校『昭和 21 年度・学校日誌』表紙(左)と昭和 21 年 12 月 21 日の記録内容(左)